

SDGsとは?

SDGsとは「持続可能な開発目標」。
簡単に言うと

「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

そして、SDGsは17の目標と169のターゲットから構成されています。将来の資源の枯渇や社会的な不安を未然に防いで持続可能性を確保することで、未来を安心して暮らせるようにするための取り組みがSDGsです。

活動の理由

- ①「ビジネスの成長と可能性」 現在SDGsは世界で注目されており、SDGsに取り組むことはビジネスチャンスにも繋がります。
- ②「社会的責任とリスク対策」 すでにビジネスの世界ではSDGsに取り組んでいないことがリスクとなってきました。
- ③「人財の確保と従業員のモチベーション」 SDGsは人財の確保と従業員のモチベーションを高めることに必要な取り組みです。
- ④「ステークホルダーとの関係強化」 応援先がSDGsに取り組んでいるかどうかで応援する熱量も変わってきます。

活動紹介

パートナーシップ構築宣言



サプライチェーンの取引先や価値創造を目指す事業者様と連携・共存共栄を進め、新たなパートナーシップを構築するために「パートナーシップ構築宣言」を行っています。

ポジティブ・インパクト



影山鉄工所と第一金属工業は静岡銀行様と「ポジティブ・インパクト」の取り組みを実施。省エネなどの取り組み目標を設定し、持続可能性向上に挑戦しています。

子供向けのワークショップ開催



影山グループの体験工房では、ワークショップを通しものづくりの楽しさと文化を地域の子供達や社会に広げる活動をしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

エコアクション21



タカラ産業では、環境保全活動を実施するための指針となる「エコアクション21」の認証を取得しています。持続可能な社会の実現に向けて引き続き尽力します。

従業員研修



影山グループでは社員が成長できる環境を整備しています。その一環として従業員研修などの教育体制を随時構築し、内容は常にアップデートしています。

日報の電子化



紙の日報をスマホアプリ化することにより、記入の手間を無くし集計を自動化することで、作業工数の短縮と業務効率化に繋げ、DX化を推進しています。

廃棄物シェアリング



SDGsゴール12「つくる責任つかう責任」をテーマに、影山グループ間で不要物を共有し、使いたいと思っている方にお渡しするという取り組みを行っています。

会社周辺清掃



定期的に会社周辺の清掃を行い、住み続けられるまちづくりに貢献しています。グループ各社で取り組み、社員同士の親睦を深めながら継続的に活動しています。

生産管理システム



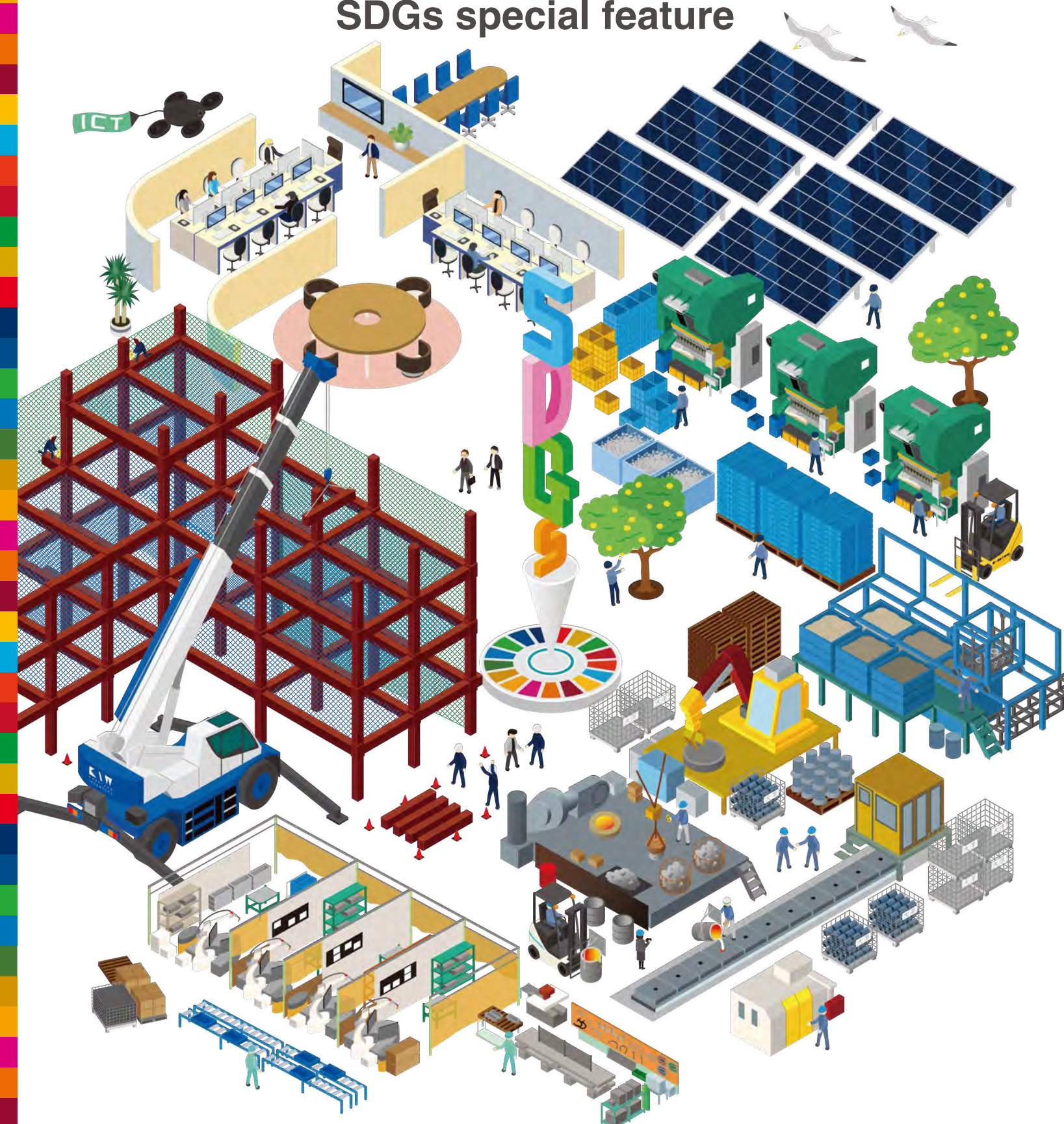
鉄骨製造では生産管理システムを開発することで業務の可視化を実現し製造工程の効率化に役立て、1人当たりの生産性向上を目指しています。

今後の取り組みについて

今後も影山グループ一体となって、SDGs達成に向けた貢献活動を推進していきます。また、世界共通の目標であるSDGsに対する全社員の意識浸透と共に、ものづくり業界の地位向上と持続可能な社会の実現を目指します。

AMAZING WORKS

SDGs special feature



もっと身近に、もっとみんなで考える

SDGs特集 影山グループの取り組みを余すことなくお伝えします。

能登半島地震、被災地への支援に

「力になりたい」という想いを影山グループとして形にしたい

アンセティック HR・ブランディング事業部 ブランディンググループ Yさん



2024年1月1日に石川県で地震が発生した際、珠洲市の実家に帰省中の社員を思い出しました。幸い、本人と親戚家族は無事でしたが、被災地では道路の陥没や沈下、水道の復旧の遅れなどの問題がありました。自分にも何かできることはないかと考え、多くの被災者に対し「助けたい」「力になりたい」と思う社員がいることから、その想いを影山グループとして形にし、「体験工房」の売上を募金する企画を立ち上げました。溶接や鋳造を体験し、ものづくりの魅力を感じながら、体験費用が社会貢献に繋がることでお客様の満足度も高まると思えました。

これを機に、多くの方に影山グループの体験工房に来てほしいと思っています。そして、能登半島の復興に役立ててほしいです。いつか世間的な関心が薄れるときが必ずくると思いますが、そのときに、被災地の支えになれば嬉しいです。



自動化、IT化を促進させ業務効率を上げる

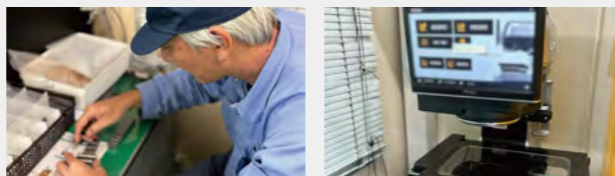
最新測定器の導入がスキルアップに繋がる

第一金属工業 品質保証部 Tさん



以前は、製品検査1つ1つにとても時間がかかっていました。担当者による測定誤差も発生し、自分の測定結果の正確性に疑問を持つこともありました。そこで課題解決に最適な『画像寸法測定器 IM-8000 シリーズ』を見つけ、会社の皆様のご協力を得て社長に機器を導入していただくことができました。IM-8000は決められた条件で常に正確な測定ができます。誰もが常に同一条件で測定できるので、不良の発見や削減に大きく貢献できます。また、短時間で多くの種類の製品を検査でき、製品の比較分析が可能となりました。具体的な数値が分かることで、自分のスキルアップにも繋がっています。

測定結果を迅速にお客様に提出できるというメリットも大きく、活用の幅が広がっています。今後は導入後に生じた問題点等の検証をしながら、品質保証部一丸となって軌道に乗せていけるよう努めてまいります。



地域の子どもたちへ「ものづくり」体験を通して学ぶ機会を提供する

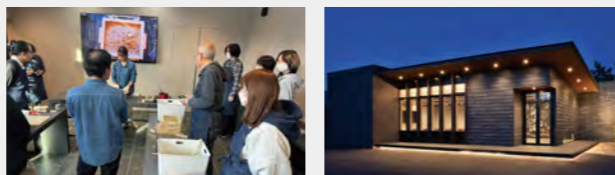
ものづくりを幼いうちに経験し、将来の職業選択の一つにしてほしい

大洋産業 経営企画部 HR・ブランディング課 Sさん



大きなプロジェクトを任せられたことで、失敗出来ないというプレッシャーを強く感じ、責任感がつきました。また、多くの案を出せるようになり、新しい扉が開いた気がします。プロジェクトメンバーには感謝しかありません。考え込んでいた時も「全部1人でやらなくて良い、困ったら何でも言ってくれ」と言われ肩の荷が下りました。社員もコンペやアンケートで意見をくれ、多くの方が運営メンバーに立候補してくれて本当に助かりました。社員全員で選んだ建物が完成し、想いが形になった時の気持ちは「嬉しい」の一言に尽きますね。今後はもっと子供達に来てほしいです。

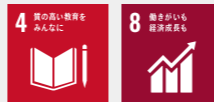
そして伝統を大事にし、自分の街を誇れる人になってほしい。桑名は鋳物や祭りなど伝統が多い街ですが、ものづくりに従事する人が少ないと感じています。ものづくりを幼いうちに経験し、将来の職業選択の一つになれば嬉しいです。



成長機会の提供

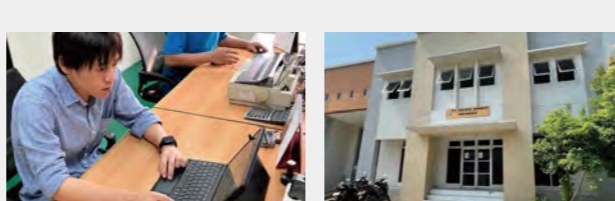
自分の武器を増やすため海外へ挑戦

タカラ産業インドネシア Business Development Manager Yさん



影山社長から「インドネシアに行ってくれないか?」と言われ、赴任して約1年になります。以前から自分の武器を増やしたいと考えていたので、「海外経験」と「経営戦略の経験」を積めることに魅力を感じ、海外赴任を決意しました。新しい事へ挑戦させていただき、更なる経験を積める環境に大変有難く思っています。現在、タカラ産業インドネシア(TSI)では営業に力を入れ、日系やローカルに関わらず営業活動を行っております。また、工場の生産管理や経営について相談役から教わりながら学んでいます。日本とビジネスの考え方が違う場所での仕事の難しさを日々痛感しています。

全てが初めての経験なのでまだまだ学ぶことは多いですが、一日でも早く1人でTSIを運営できるようになり、駐在中に少しでも成長させていきたいです。



多様な働き方とジェンダー平等を実現する

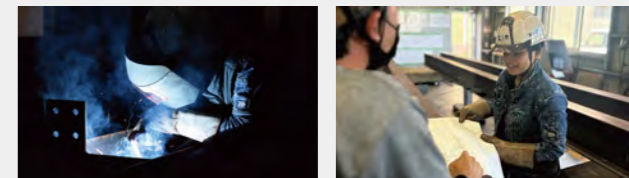
多くの業務をこなせるオールラウンダーになりたい

影山鉄工所 製造部 製造グループ Tさん



影山鉄工所を知ったきっかけはテレビ番組です。溶接体験工房でものづくりの面白さを広めているのを見て、ここで働きたいと思いました。しかし、当時は経験が浅かったため、知識や経験を積んでから2023年に入社しました。影山鉄工所には積極的にチャレンジできる環境があります。会社が資格取得に力を入れており、成長の機会が多いため、現在は様々な資格取得に挑戦中です。現在は鉄骨の溶接業務を主に行っていますが、工場では男女の隔りなく同じ仕事を任されるので働きやすいです。女性だからと変に気を使われないので、皆と接しやすいですね。社食も美味しく、事務所がおしゃれなのも魅力です。作業中

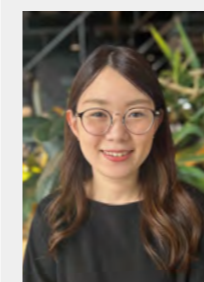
は社員との連携を心掛け、円滑に業務が回るよう意識しています。今後は加工や運搬、クレーンなど多くの業務をこなせるオールラウンダーになることが目標です。



リモートワーク推進による多様な働き方の提供

子供の生活スタイルに合わせられるようになった

影山鉄工所 設計部 積算グループ Hさん



現在、週一の出勤日以外は基本リモートワークをしています。私は小学生の子供がいますが、子供の生活スタイルに合わせてられるようになりとても助かっています。警報が出て急に下校させられてしまったり、学級閉鎖で学校に行けなかったりする際に、自宅で待機し子供の様子を見ながら仕事をさせてもらえるので安心です。また、リモートワークをする前は子供が一人で帰ってきて習い事に行くのが不安でしたが、私が在宅であれば送り出すことができるので安心ですね。在宅が多い中でも、部署内の連携を保つのに意識していることは『とにかく話すこと』。なるべく部下の声を聴き、顔を合わせながら話すことで、部下の体調や様子をうかがっています。

私は対面で話すことが好きですが、在宅ではやりきるところまで集中してできるので、リモートと出社をバランスよく組み合わせて仕事させていただいています。



多様な働き方とジェンダー平等を実現する

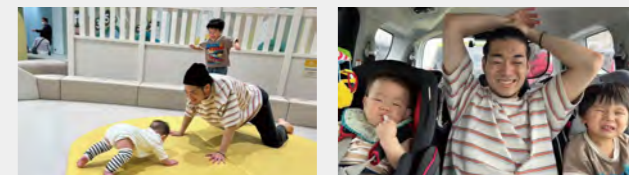
男性の育休は特別なことではなく自然なことであるべき

影山鉄工所 製造部 製造グループ Tさん



第2子で初めて1カ月の育休を取得しました。職場の理解もあり、安心して育休を考えることができました。育休取得を決めたのは、家族のためでもあり、自分のためでもありますね。1人目の時は新生児期からじっくり見ることがなかったので、2人目は初めから積極的に子育てに関わりたいと考えていました。また、出産後に妻が一人で育児をするのは大変ですと、協力しようと思っていました。実際1カ月はあっという間でした。休みの間は家事全般と1人目の保育園の準備、送迎など普段妻がしていたことを担当しました。いつもこんなに大変なんだと理解し、妻への感謝が大きくなりました。家族との時間も増え、育休を取って

本当に良かったです。男性が育休を取ることは特別なことではなく自然なことであるべきだと考えています。是非皆さんにも積極的に育休を取得してもらえれば良いと思います。



住み続けられるまちづくりに貢献する

地元である駿河湾の自然を守りたい

影山鉄工所 製造部 製造グループ Kさん



幼い頃から自然が好きで、駿河湾で素潜りや釣りをよく遊んでいました。最近では、社長や会社のメンバーと船で一緒に釣りをしに行くこともあります。そこで地元である駿河湾の自然を守りたいと思い、会社のSDGs推進チームで企画して清掃活動を開始しました。社長の理解があり、業務時間中に清掃活動ができるので、事務方も製造方も積極的に参加して下さって嬉しいです。海岸を清掃してみると、大きなゴミから小さなゴミまで漂着していました。かなりの量のごみを回収できるので、今後も会社全体で地域の清掃活動に取り組んでいきたいです。近年は漁具などを魚や鳥が飲み込んでしまうことも問題になっています。

海岸清掃は美しい景観を維持するだけではなく、海洋生物を守ることもつながります。今後は船で海に浮遊しているごみを清掃できたら面白いですね。

